

教員データ



学長
成人急性期看護学，リハビリテーション看護学，応用行動分析学
鎌倉 やよい
かまくら やよい

学位	博士（学術）愛知淑徳大学
学部／大学院	学部／大学院
担当授業科目	【学部】 老年病態・治療論 【大学院修士課程】 成人周術期看護論 セルフマネジメント論 病態生理学 【大学院博士課程】 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
研究テーマ	摂食嚥下障害に対する看護ケアプログラム開発に関する研究 脳卒中急性期の肺炎予防に関する研究 周術期におけるセルフコントロール（自己制御）に関する研究
主要所属学会	日本看護科学学会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 日本行動分析学会 日本老年看護学会 嚥下医学会

	日本がん看護学会 日本看護研究学会
主要著書・論文	【主要著書】 1) 才藤栄一，植田耕一郎（監）出江紳一，鎌倉やよい，熊倉勇美，弘中祥司，藤島一郎，松尾浩一郎，山田好秋（編著）（2016）摂食嚥下リハビリテーション，第3版，共著，全406頁． 2) 山本淳一，武藤崇，鎌倉やよい（編著）（2015）ケースで学ぶ行動分析学による問題解決．金剛出版，共著，全226頁． 3) 馬場元毅，鎌倉やよい（2013）深く深く知る脳からわかる摂食・嚥下障害．学研メディカル秀潤社，共著，全128頁． 4) 鎌倉やよい（編著）（2012）実践するヘルスアセスメントー身体の構造と機能からアセスメントを導く．学研メディカル秀潤社，共著，全212頁 5) 鎌倉やよい（2011）19．訓練実施に関する医療関係法規，馬場尊（編）日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 e-ラーニング対応第2分野 摂食・嚥下リハビリテーションの前提．医歯薬出版，共著，pp52-60． 6) 鎌倉やよい，深谷安子（編著）（2011）看護学生のためのケース・スタディ．第4版，メヂカルフレンド社，共著，全252頁． 7) 向井美恵，鎌倉やよい（編著）（2010）摂食・嚥下障害ベストナースィング．学研メディカル秀潤社，共著，全184頁． 8) 鎌倉やよい，深田順子（2008）周術期の臨床判断を磨くー手術侵襲と生体反応から導く看護．医学書院，共著，全165頁． 9) 鎌倉やよい（編著）（2007）訪問看護における摂食・嚥下リハビリテーションー退院から在宅まで．医歯薬出版，共著，全153頁． 10) 鎌倉やよい（2007）第2章看護場面における援助，望月昭（編）対人援助の心理学．朝倉書店，共著，pp19-32，37-43． 11) 向井美恵，鎌倉やよい（編著）（2003）Nursing Mook 20，摂食・嚥下障害の理解とケア．学習研究社，共著，全175頁． 12) 鎌倉やよい，藤本保志，深田順子（2000）嚥下障害ナースィング．医学書院，共著，全143頁． 【翻訳】 1) ジョン・ベイリー，メアリー・バーチ（著） 日本行動分析学会行動倫理研究会（中野良頭，鎌倉やよい，森山哲美，吉野俊彦，大石幸二）（訳）（2015）行動分析家の倫理．二瓶社，全359頁．

【論文 1996 年以降】

- 1) Inui Y, Kamakura Y, Fukada J, Yoneda M, Kataoka E, et al: Development of Pyriform Sinus Suctioning Programs for Aspiration Pneumonia Prevention During the Acute Stroke. Dysphagia 2017;32:767-776.
- 2) Higashiguchi T, Ohara H, Kamakura Y, Kikutani T, Kuzuya M, et al: Efficacy of a New Post-Mouthwash Intervention(Wiping Plus Oral Nutritional Supplements) for Preventing Aspiration Pneumonia in Elderly People: A Multicenter, Pandomaized, Comparative Trial. Annals of Nutrition & Metabolism 2017;71:253-260.
- 3) 渡邊直美, 鎌倉やよい, 深田順子 (2017) 喉頭全摘出術を選択したがん患者の意思決定に影響を与えた要因. 愛知県立大学看護学部紀要, 23 : 77-85.
- 4) 鎌倉やよい (2016) 行動分析学は医療とどう向き合ってきたか : セルフマネジメントの支援. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会雑誌, 20(4) : 383-389.
- 5) 藤浪千種, 鎌倉やよい, 深田順子, 藤井博子 (2015) 「胃切除術後患者のための食事摂取量自律的調整プログラム」の臨床活用における課題. 愛知県立大学紀要, 21 : 31-41.
- 6) 山根由起子, 鎌倉やよい, 深田順子 (2015) 脳卒中急性期における誤嚥性肺炎のリスク評価アルゴリズムの開発. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌, 19(3) : 201-213.
- 7) 大山末美, 深田順子, 鎌倉やよい (2015) 緩和ケア病棟におけるがん患者の抑うつを早期発見するためのアセスメントに関する基礎的研究. 日本がん看護学会誌, 29(2) : 79-90.
- 8) 西岡裕子, 鎌倉やよい, 深田順子, 青山寿昭, 岡田教子, 鈴木恭子, 竹内麻純, 長谷川泰久 (2015) 中咽頭がん術後の摂食嚥下障害のアセスメントを導くアルゴリズムの開発. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌, 19(1) : 82 - 88.
- 9) 乾友紀, 鎌倉やよい, 深田順子, 米田雅彦 (2014) 成人および高齢者の口腔内における肺炎球菌保菌実態と唾液タンパクとの関連. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌, 18(3) : 265 - 273.
- 10) 山内三帆, 鎌倉やよい, 深田順子 (2014) 保育園児への歌を用いた手洗い指導プログラムの効果. 看護研究, 47(6) : 563-571.
- 11) 廣島香代子, 鎌倉やよい, 深田順子, 梶原智代美, 松浦昭雄 (2014) 心臓手術後リハビリテーションにおける運動の自律的調

- 整．看護研究，47(6)：551-562.
- 12) 鎌倉やよい (2014) 看護ケアプログラムの開発－行動分析学の視点から．看護研究，47(6)：496-505.
- 13) 日比野友子，深田順子，鎌倉やよい，片岡笑美子，小森和子 (2014) 慢性腎臓病患者の食事療法に対する自己管理行動アセスメント指標の開発．日本看護研究学会雑誌，37(5)，1-10.
- 14) 渡邊直美，鎌倉やよい (2014) 手術療法を受けるがん患者の意思決定に影響する要因．日本がん看護学会誌，28(1)：5 - 10.
- 15) 熊澤友紀，鎌倉やよい，米田雅彦，深田順子，片岡笑美子，波多野範和，長谷川康博 (2013) 脳卒中急性期患者における誤嚥性肺炎発症と唾液中 sIgA および細菌 DNA 量との関係．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，17(2)：134 - 144.
- 16) 百瀬由美子，藤野あゆみ，天木伸子，山根友絵，田中和奈，鎌倉やよい (2012) 通所介護事業所における虚弱高齢者の口腔機能向上サービスに関するニーズと職員の認識．愛知県立大学紀要，18：63 - 69.
- 17) 深田順子，鎌倉やよい，北池正，石垣和子 (2012) 訪問看護における摂食・嚥下障害看護を推進する要因と妨げる要因．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，16(3)：263 - 268.
- 18) 深田順子，鎌倉やよい，坂上貴之，百瀬由美子，布谷摩耶，藤野あゆみ，横矢ゆかり (2012) 地域高齢者における保健行動に関連した自己制御尺度の開発．日本看護科学会誌，32(3)：85 - 95.
- 19) 布谷摩耶，鎌倉やよい，深田順子，熊澤友紀 (2012) クロール病患者への食事指導プログラムの開発と有効性の検証．日本看護科学会誌，32(3)：25 - 32.
- 20) 深田順子，鎌倉やよい，百瀬由美子，布谷摩耶，藤野あゆみ，横矢ゆかり，坂上貴之 (2011) PRECEDE－PROCEED モデルを用いた地域高齢者における口腔保健行動に関連する評価尺度の開発．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，15(2)：199 - 208.
- 21) 深田順子，鎌倉やよい，浅田美江 (2010) 摂食・嚥下障害看護の質向上に及ぼす認定看護師の影響．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，14(3)：219 - 228.
- 22) 深田順子，熊澤友紀，吹田麻耶，鎌倉やよい，竹内麻純，鈴木さおり，兵藤千草 (2010) 看護基礎教育における周術期の臨床判断力の向上を目指した教育実践．愛知県立大学紀要，16：31 - 39.
- 23) 吹田麻耶，百瀬由美子，深田順子，森本紗磨美，横矢ゆかり，藤野あゆみ，坂上貴之，鎌倉やよい (2010) 地域高齢者の

口腔保健行動－PRECEDE-PROCEED モデルを用いた類型化. 身体教育
医学研究, 11(1) : 27 - 35.

24) 深田順子, 鎌倉やよい (2009) 愛知県内病院の摂食・嚥下リ
ハビリテーションにおけるチームアプローチの現状. 愛知県立大
学紀要, 15 : 55 - 61.

25) 深田順子, 鎌倉やよい, 浅田美江 (2009) 摂食・嚥下障害看
護認定看護師教育課程における教育効果の検討. 日本摂食嚥下リ
ハビリテーション学会雑誌, 13(2) : 107 - 119.

26) 深田順子, 鎌倉やよい, 浅田美江 (2009) 認定看護師および
看護師のための摂食・嚥下障害看護質評価指標の開発. 日本摂食
嚥下リハビリテーション学会雑誌, 13(2) : 88 - 106.

27) 百瀬由美子, 箕浦哲嗣, 白石知子, 大澤ゆかり, 村上和人, 中
島聡, 鎌倉やよい (2009) 高齢者施設におけるケア提供者の健康
状態と介護機器利用に関する研究. 日本看護福祉学会誌, 14(2) :
87 - 99.

28) 深田順子, 鎌倉やよい, 日比野友子, 伊東美穂, 羽田野杏子
(2007) 背部温電法の温度の相違による効果の検討. 日本看護研
究学会雑誌, 30(4) : 75 - 83.

29) 石光芙美子, 鎌倉やよい, 深田順子 (2006) 術後譫妄前駆症状
観察ツールに関する基礎的研究－術後譫妄症状の構造化－. 日本
看護科学会誌, 26(4) : 74 - 83.

30) 大塚静香, 鎌倉やよい, 米田雅彦, 深田順子, 篠田雅幸, 金田
久江 (2006) 食道癌術後患者におけるせん妄症状、睡眠、尿中 PGE2
排泄パターンの関係. 日本看護科学会誌, 26(4) : 11 - 18.

31) 深田順子, 鎌倉やよい, 万歳登茂子, 北池正 (2006) 高齢者
における嚥下障害リスクに対する他者評価に関する研究. 日本摂食
嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10(3) : 220 - 230.

32) 山口真澄, 鎌倉やよい, 深田順子, 米田雅彦, 山村義孝, 金田
久江 (2006) 幽門側胃切除術後患者における退院後の食事摂取量
の自律的調整に関する研究. 日本看護研究学会雑誌, 29(2) : 19 -
26.

33) 深田順子, 鎌倉やよい, 万歳登茂子, 北池正 (2006) 高齢者
における嚥下障害リスクに対するスクリーニングシステムに関する
研究. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10(1) : 31 - 42.

34) 川口由香里, 上川ゆかり, 三上真由, 鎌倉やよい (2006) PCA
持続皮下注入法による術後疼痛コントロールに関する検討. 第 36
回日本看護学会論文集 ; 成人看護 I, 21 - 36.

35) 鎌倉やよい, 深田順子 (2005) 頭頸部癌術後の摂食嚥下リハビ

	リテーション：看護の立場から．頭頸部癌，31(3)：331 - 336. 36) 鎌倉やよい (2005 年 4 月) ヒストリカルレビュー：看護領域．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，9(1)：27 - 35. 37) 中島佳緒里，小川鉦一，鎌倉やよい (2004) 腹部手術患者におけるベッドからの起き上がり動作の検討．人間工学，40(4)：179 - 185. 38) 中島佳緒里，深田順子，鎌倉やよい，山口真澄，小野田嘉子 (2004) 幽門側胃切除術後の食事摂取量をセルフコントロールするための指標の検討．日本看護研究学会雑誌，27(2)：59 - 66. 39) 尾沼奈緒美，鎌倉やよい (2004) 手術を受ける乳癌患者の意志決定に関する構造．日本看護研究学会雑誌，27(2)：45 - 57. 40) 松原敏浩，水野智，岩本泰宏，鎌倉やよい (2003) 病院看護師の意識行動発生プロセスの分析－バーンアウトおよび転職意図を中心として．経営行動科学，16(3)：195 - 207. 41) 深田順子，鎌倉やよい，北池正 (2002) 在宅高齢者の嚥下機能に影響する生活要因．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，6(1)：38 - 48. 42) 深田順子，鎌倉やよい，北池正，野尻雅美 (2002) 在宅高齢者のための嚥下障害リスク評価に関する尺度開発．日本看護研究学会雑誌，25(1)：87 - 99. 43) 松原敏浩，水野智，岩本泰宏，鎌倉やよい (2001) 看護方式が職務行動に与える影響について．病院管理，38(3)：215 - 223. 44) 浅田美江，鎌倉やよい，藤本保志，深田順子，野田順子 (2001) 中咽頭癌術後急性期における看護の検討．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，5(1)：43 - 48. 45) 鎌倉やよい，深田順子，杉本助男 (2001) 嚥下と呼吸の協調への量と温度の影響．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，4(2)：33 - 46. 46) 石原磨奈美，鎌倉やよい，一柳美稚子 (2000) 手術室における対人距離の変化．日本看護研究学会雑誌，23(5)：91 - 98. 47) 鎌倉やよい，杉本助男，深田順子 (1998) 加齢に伴う嚥下時の呼吸の変化．日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌，2(1)：13 - 22. 48) 鎌倉やよい，岡本和士，杉本助男 (1998) 在宅高齢者の嚥下状態と生活習慣．総合リハビリテーション．26(6)：277 - 283. 46) 鎌倉やよい (1996 年) 老年者の嚥下障害の援助．日本咀嚼学会雑誌，6(1)：3 - 10. 49) 鎌倉やよい，坂上貴之 (1996) 術前呼吸練習プログラムの開発
--	--

とその効果の検討. 行動分析学研究, 9(1) : 2 - 13.

【科学研究費等助成金による研究】

1) 渡邊直美, 鎌倉やよい, 深田順子 : 喉頭摘出者の患者会における教育プログラムの効果の検証. 科学研究費助成事業, 科学研究費補助金基盤研究(C) (一般) , 2018~2020.

2) 西岡裕子, 深田順子, 鎌倉やよい, 渡邊直美 : 頸部郭清術を受ける患者の機能障害に対する包括的看護プログラムの開発. 科学研究費助成事業, 科学研究費補助金基盤研究(C) (一般) , 2018~2021.

3) 真田弘美, 須釜淳子, 大滝淳司, 鎌倉やよい, 才藤栄一, 加賀谷齊, 松山裕, 岡田晋吾, 山田雅子, 太田秀樹 : アドバンスな看護技術を導入した在宅・介護療養者の摂食嚥下・排便を支える多職種連携システムの構築. Medical Arts の創成に関する研究 (外科, がん, 看護, リハビリ等の新たな医療技術やソフトウェアの開発) , 2016~2018.

4) 香取幸夫, 出江紳一, 鎌倉やよい, 倉智雅子, 佐々木啓一, 小山重人, 中島純子, 越久仁敬, 黒澤一, 栗山進一, 兵頭政光, 藤本保志, 唐帆健浩, 二藤隆春, 木村百合香, 熊井良彦, 加藤健吾 : 包括的嚥下障害基礎訓練法の開発と有効性の検討. 障害者対策総合研究開発事業, 感覚器障害分野 (4. 嚥下障害訓練法の有効性に関する研究) , 2016~2018.

5) 深田順子, 鎌倉やよい, 石光芙美子, 西岡裕子, 渡邊直美 : 食道癌高齢患者の治療に伴う骨格筋量減少を予防するための手術着看護プログラムの開発. 科学研究費助成事業, 科学研究費補助金基盤研究(B) (一般) , 2016~2019.

6) 深田順子, 鎌倉やよい, 西岡裕子 (2016) 食道がん術後患者の食行動に関するセルフ・コントロールプログラムの開発と効果の検証. 平成 24~27 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 研究成果報告書.

7) 鎌倉やよい, 百瀬由美子, 藤原奈佳子, 深田順子, 湯海鵬, 石垣享, 坂上貴之 (2015) 地域高齢者の摂食嚥下障害サポートシステムの構築と評価. 平成 23~26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 研究成果報告書.

8) 東口高志, 菊谷武, 丸山道生, 葛谷雅文, 松崎政三, 真田弘美, 鎌倉やよい (2015) 口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防に関する研究. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業研究成果報告書.

- 9)熊澤友紀，鎌倉やよい，深田順子，米田雅彦（2013）地域高齢者における市中肺炎予防に関する口腔環境の基礎的研究．平成 23～25 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書．
- 10)山口真澄，鎌倉やよい，深田順子，榊原由美子，金光幸秀，小森康司（2012）EORTC Colorectal Cancer-specific Quality of Life Questionnaire Module QLQ-CR29 日本語版を用いた大腸がん術後患者の Quality of Life と排便機能の経時的変化の検討．平成 23 年度愛知県がん振興財団がんその他の悪性新生物研究助成研究成果報告書．
- 11)深田順子，鎌倉やよい，百瀬由美子，米田雅彦（2012）高齢者における口腔機能向上プログラムの開発と効果の検証．平成 21～23 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書．
- 12)高橋雅治，池上将永，鎌倉やよい，深田順子，百瀬由美子，坂上貴之，布谷摩耶，藤野あゆみ，伊藤正人，佐伯大輔，平岡恭一，青山謙二郎（2012）医療・教育現場で真に役立つ自己制御尺度の開発と応用．平成 20～23 年度科学研究費補助金（基盤研究(B)）研究成果報告書．
- 13)鎌倉やよい，深田順子，米田雅彦，熊澤友紀（2011）脳卒中急性期における誤嚥性肺炎予防に関する基礎的研究．平成 20～22 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書．
- 14)鎌倉やよい，深田順子，浅田美江（2008）臨床における摂食・嚥下障害看護の質評価尺度の開発．平成 18～19 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書．
- 15)深田順子，鎌倉やよい，成瀬美香，西岡裕子，秋山夢，山村義隆，伊藤誠二，望月能成，高山冷子，兵藤千草（2007）胃癌術後患者の QOL に関する縦断的研究．平成 18 年度財団法人愛知県がん研究振興会 第 31 回がんその他の悪性新生物研究助成金報告書．
- 16)鎌倉やよい，浅野香代子，深田順子，橋本秀和，梶原智代美，松浦昭雄，山口世志美（2006）心臓手術後リハビリテーションにおける運動量の自律的調整に関する研究．財団法人木村看護教育振興財団平成 16 年度看護研究助成事業看護研究集録 13，pp. 21-36．
- 17)石光芙美子，鎌倉やよい，米田雅彦，深田順子，兵藤千草，篠田雅幸，波戸岡俊三（2006）術後せん妄の前駆症状を観察するツールに関する研究．平成 17 年度財団法人愛知県がん研究振興会第 30 回がんその他の悪性新生物研究助成金報告書．
- 18)鎌倉やよい，深田順子，秋山夢，山村義孝，伊藤誠二，小島泰

樹，高山冷子，金田久江（2005）胃癌術後患者のQOLに関する縦断的研究，平成16年度財団法人愛知県がん研究振興会 第29回がんその他の悪性新生物研究助成金報告書。

19) 鎌倉やよい，深田順子（2004）在宅高齢者の嚥下障害援助システム開発に関する基礎的研究．平成15～16年度科学研究費補助金（基盤研究(C)（2））研究成果報告書。

20) 大塚静香，鎌倉やよい，米田雅彦，深田順子，金田久江，篠田雅幸，波戸岡俊三（2004）ICU入室患者における術後せん妄と睡眠覚醒リズム障害に関する研究．平成15年度財団法人愛知県がん研究振興会第28回がんその他の悪性新生物研究助成金報告書。

21) 鎌倉やよい（2003）嚥下と呼吸の協調に基づく嚥下訓練に関する研究．平成13～14年度科学研究費補助金（基盤研究(C)（2））研究成果報告書。

22) 深田順子，鎌倉やよい，藤本保志，万歳登茂子（2002）在宅高齢者の嚥下障害リスクを自己および他者評価するための尺度に関する研究．財団法人慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団報告書。

23) 鎌倉やよい（2001）口腔・中咽頭癌術後嚥下障害における嚥下と呼吸の協調に関する研究．平成11～12年度科学研究費補助金（基盤研究(C)（2））研究成果報告書。

24) 岩月泰宏，水野智，鎌倉やよい，松原敏浩，伊藤日出男（2000）ヘルスケア・サービス提供者の労働意識に関する調査研究報告書－看護職員の職務行動と病院病棟の組織風土・職務特性について．平成11年度青森県立保健大学・健康科学特別研究（地域研究）。

25) 村瀬千春，鎌倉やよい，杉本助男（2000）ラベンダーの香りが療養型病床群入院中の老人の夜間睡眠に及ぼす影響．木村看護教育振興財団平成10年度看護教育助成事業看護研究集録，7，pp. 428-433。

26) 鎌倉やよい（1999）高齢者の嚥下障害に対する呼吸曲線のフィードバックによる援助技術の開発．平成9～10年度科学研究費補助金（基盤研究(C)（1））研究成果報告書。

27) 鎌倉やよい（1997）高齢者の嚥下障害に対する援助技術開発のための基礎的研究－加齢に伴う嚥下時の呼吸の変化－．笹川医学医療研究財団看護職員等研究報告，第4号，pp. 105-107。